



宜野湾市立志真志小学校 学校だより

『志真志っ子』 令和7年3月5日号

3月

校長 田中 志郎

重点取り組み事項「ていねいな言葉づかい」「あいさつ」「校内美化」

今日は6年生の卒業を祝う「卒業を祝う会」がありました。祝う会の様子は、次回の学校だよりでお伝えします。6年生の登校日は残り9日。卒業生が最後の日々を楽しんで、素敵な思い出を胸に卒業できることを願います。

読書感想文の紹介

3年生の喜瀬夢花さんの読書感想文が、学校代表、中頭地区代表となり、県大会「第61回全沖縄青少年読書感想文」中学年自由の部で見事「最優秀賞」に選ばれました。夢花さん、おめでとう！

最優秀賞の感想文、ぜひ読んでみて下さい。

「みえるとかみえないとか」を読んで

わたしは、ヨシタケシンスケさんの「みえるとかみえないとか」という本を読みました。わたしが、この本をえらんだ理由は、ヨシタケシンスケさんがかく本が好きで、その中でも、この本が一番お気に入りだったからです。

この本は、ちがいを考える絵本です。たとえば、目が見える人と、見えない人の世界の感じ方のちがいやみんなが感じている「あたりまえ」が人によってちがっているということをかawaiiイラストと分かりやすいたとえ話を使って、子どもに教えてくれる本です。

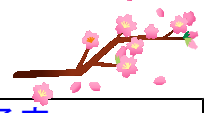
わたしがこの本を読んで一番びっくりしたところは、目の見えない人が見ている世界は、私の感じている世界とぜんぜんちがうところなんです。たとえば、目の見えない人は、自分の予定をメモのかわりに声でろく音しているそうです。また、今の時こくを知りたい時は、声の出る時計かさわって時こくが分かる時計を使って時間を知っているそうです。さらに、家では、物をおく場所を決めておかないとさがせないで、いつもへやがキッチンとしているということなどです。見えない人は「音」や「におい」や「手ざわり」でいろんなことが分かるそうです。見えないからできないことはたくさんあるけど、見えないからこそできることもたくさんあるということをおこの本を読んで知ることが

できました。

わたしにはタマゴと牛にゅうのアレルギーがあります。だから、みんなのあたりまえとわたしのあたりまえはちょっとちがいます。みんながあたりまえに食べられるケーキやおかしは、わたしは食べることができません。でも、ときどきタマゴや牛にゅうを使っていないケーキやおかしを見つけることがあります。その時は、たから物を見つけたようなドキドキとわくわく、そしてしあわせを感じることができます。ほかに、給食の時には、毎日おべんとうを作って学校へ持ってきています。そうすると、遠足気分が味わえます。これは、アレルギーのある人にしか感じられない事だったりします。でも、アレルギーがあってもなくても、好きな食べ物が同じ人と出会うこともあります。

この本を読んで、どんなに考え方や見えている世界がちがっても、どんな人にもかならず同じところはあるということが分かりました。

わたしは、本のさいごに書かれている「同じ所をさがしながら、ちがう所をおたがいにおもしろがればいい」という言葉が、一番好きです。これからも、いろんな人とちがう所や同じ所を見つけながら、いろんな出会いを楽しみたいです。



3月主な行事予定

10日(月) 卒業式会場設営5校時

※この日の午後から体育館の運動使用はできません。

11日(火) 成績処理ウィーク～17日まで

※17日まで、全学年5校時授業となります

12日(水) ぶくぶく(フッ化物洗口)

(次のページへ)

17日(月)幼稚園修了式
18日(火)卒業式
19日(水)修了式・離任式

志真志っ子の様子



↑3/3 部活動の活躍を報告

3月2日の学童野球大会(さよなら大会)で宜野湾少年ライオンズが第3位になったことの報告に来てくれました。おめでとう!



↑3/4 音楽部ミニコンサート

お昼時間に音楽部のミニコンサートがあり、大勢の志真志っ子が鑑賞しました。優しい音色と迫力ある強い音色の強弱をつけた素敵演奏会でした。



↑2/28 嘉数中生徒会が中学校説明会のために来校

6年生の卒業の時期に、嘉数中学校の紹介をしてくれるために、生徒会の代表が来校してくれました。中学校生活について分かりやすく話ししてくれました。志真志小出身の卒業生が生徒会役員として頑張っていることがうれしかったです。忙しい中、説明に来てくれてありがとうございました!